

【六甲高山植物園】牧野富太郎発見「ジョウロウホトギス」と「キイジョウロウホトギス」が見頃を迎えました！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、牧野富太郎博士発見の「ジョウロウホトギス」と同じ仲間の「キイジョウロウホトギス」が見頃を迎えました。

「ジョウロウホトギス」は牧野富太郎博士が高知県の横倉山で発見し、ロシアの植物学者マキシモヴィッチ博士が命名しました。四国と九州に自生しています。一方、「キイジョウロウホトギス」は、和歌山県の紀伊半島南部にのみ自生します。どちらも絶滅危惧Ⅱ類に分類される希少な植物で、黄色い花を鈴なりに咲かせる姿は大変美しく、この優雅な花を平安時代の宮中に奉仕する貴婦人「上臈(じょうろう)」に見立てて名付けられました。



■キイジョウロウホトギス(ユリ科)

本州(紀伊半島南部)に分布する多年草です。深山のがけから垂れ下がるようにして生育しています。長さ40～80cmの茎はしなだれて、節々に重なって花を咲かせます。また、“キイ”とは紀伊半島にのみ自生することからついています。当園に咲く「キイジョウロウホトギス」は、約200株で、現在見頃を迎えており、10月中旬頃までお楽しみいただける見込みです。



花の中の模様

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL: 078-891-1247 / FAX: 078-891-0137

住所: 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】～11月23日(木・祝)【開園時間】10:00～17:00 (16:30受付終了)

土日祝のみ「ひかりの森～夜の芸術散歩～」17:00～20:00(ナイトパス要)

【入園料】大人(中学生以上)900円／小人(4歳～小学生)450円

【駐車場】1,000円